

平成 22 年度運輸安全マネジメント報告書



全 但 バ ス 株 式 会 社

平成 22 年度運輸安全マネジメント報告書

全但バス株式会社

1. はじめに

当社は、過去の悲惨な比叡山事故を風化させないための教訓として、昨年7月を「事故ゼロ強化月間」として設定し、全但バスグループ企業理念「地域貢献・未来創造～笑顔と信頼で地域を結ぶ～」を経営の原点と考え、二度と重大事故を起さない決意を持ち、「お客様の安全輸送」を最優先にすることを全但バスグループ共通の安全確保に関する基本理念として掲げ、様々な取り組みを実践しております。

しかし、これらの理念を達成するためにはすべては運輸安全マネジメントシステムの効果的な運用と継続的な改善により、お客様からの「安全」という信頼を確固たるものにして、安全輸送を成し遂げた上での事であります。

私たち、全但バスグループでは、「安全輸送は我社の最大の責務」を安全方針として、お客様の安全確保を実践するため、私自身が全社員の先頭に立って、あらゆる取り組みに率先垂範してまいります。

全但バス株式会社

取締役社長 桐山 徹郎

2. 輸送の安全に関する基本的な方針

[基本的な方針]

社長は、輸送の安全の確保が事業経営の根幹であることを深く認識し、輸送の安全を確保するため、輸送の安全に関する方針を定め、社内において輸送の安全の確保に主導的な役割を果たす。また、現場における安全に関する声に真摯に耳を傾けるなどの現場の状況を十分に踏まえつつ、社員に対し輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底させる。

輸送の安全に関する計画の策定、実行、チェック、改善(Plan Do Check Act)を確実に実施し、その結果を踏まえ安全対策を不断に見直しを行う。交通安全マネジメントを確実に実施し、全社員が一丸となって業務を遂行することにより、絶えず輸送の安全性の向上に努める。また、輸送の安全に関する情報については、積極的に公表する。

全但バス 安全方針

「安全輸送は 我社の最大の責務」

[全但バス 安全に関する重点施策]

輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底し、関係法令及び安全管理規程に定められた事項を遵守すること。

輸送の安全に関する費用支出及び投資を積極的かつ効率的に行うよう努めること。

輸送の安全に関する内部監査を行い、必要な是正措置又は予防措置を講じること。
 輸送の安全に関する情報の連絡体制を確立し、社内において必要な情報を伝達、共有すること。
 輸送の安全に関する教育及び研修に関する具体的な計画を策定し、これを的確に実施すること。

3. 輸送の安全に関する目標及び当該目標の達成状況(平成 22 年度)

平成 22 年度に設定した全但バス株式会社の目標及び達成状況です。

全体目標	達成状況
飲酒運転の撲滅	0件
死亡事故・重大事故ゼロ	死亡事故・・・0件 重大事故・・・2件(車内転倒・追突事故)
有責事故件数の対前年度20%減少	有責事故発生件数・・・37件 (対前年度 24件 対前年度比 154%)

4. 自動車事故報告規則第二条に規定する事故に関する統計(平成 22 年度)

平成 22 年度(4 月 1 日～3 月 31 日)の期間中における事故件数は下記のとおりです。

	件数
車内転倒・追突事故	2件

5. 安全管理規程及び安全統括管理者

安全統括管理者 田中優 取締役
 安全管理規程 「別紙1 安全管理規程」参照

6. 輸送の安全に関する組織体制及び指揮命令系統

「別紙2 運輸安全マネジメント組織図」参照

7. 輸送の安全に関する計画

輸送の安全確保の為、策定した計画及び実施状況については「別紙3 平成 22 年度運輸の安全に関する教育及び研修の計画・点検結果」のとおりです

8. 輸送の安全に関する教育及び研修の計画

輸送の安全確保の為、全社員が取り組んでいる様々な取り組みについては下記のとおりです。

取り組み一覧	時期
全国交通安全運動	春・秋
交通事故防止運動	夏・年末
車内事故防止キャンペーン	夏
飲酒運転防止週間	随時
年末年始の輸送等に関する安全総点検	年末・年始
事故ゼロ強化月間	7月中
各地における交通立番	適宜
その他 自社キャンペーン	適宜

* 交通安全運動・自社独自キャンペーン等では全社員が「交通安全運動」ワッペンを着用・各営業所では立て看板・懸垂幕などを掲示し、事故ゼロ強化月間においては、立番時にタスキを着用し、常時バス・社用車の全ての車両に「呼称・指差安全確認」のステッカーを貼付して安全意識の向上を図っております。



「着用ワッペン」



「事故ゼロ強化月間タスキ」



「呼称・指差安全確認ステッカー」

全但バスは、すべてのお客様の安全を最優先に「安全で快適なサービスの提供」を目指し、今後も社員一同取り組んでまいります。

全但バス株式会社

社員一同